

5/1 臨時議会開催 コロナ緊急対策関連補正予算可決

専決第1号 1.25億円追加

返済免除付生活支援資金貸付制度、市の直接雇用による緊急雇用対策、みんなで仕事づくり応援パッケージ、おうちで飛驒市満喫キャンペーン

補正第1号 29億円追加 総額予算207億円

特別定額給付金・子育て世代への臨時特別給付金(国事業)への対応(24.1億円)、住宅リフォーム補助制度(0.6億円)、プレミアム商品券・電子地域通貨(2.4億円)、感染症疾病手当金の創設、感染症拡大防止協力金(県事業)への対応、感染予防資材の充実。

※財政調整基金から4.8億円を繰入、残高約60億円。大規模災害時に必要な支援費用が一人当たり50万円程度、国等の支援を除くその2分の1は確保したい。「飛驒市民24,000人×25万円=60億円」今後コロナ関連対策で財政調整基金が一時的に残高50億円台になるかもしれないが、国交付金を活用して60億円台まで戻していく予定。

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会 設置

市民の生命と健康を保護し、市民生活並びに地域経済に及ぼす影響を最小限とするべく、正確な情報の収集・発信を行い、必要に応じ、市、県、国の施策・予算に対する提案・要望を行うことを目的とし、議員全員による特別委員会を設置しました。

第1回委員会で、委員長に高原邦子議員、副委員長に水上雅廣議員を選任。



第2回委員会 5月13日：厳しい現実 緊急事態宣言解除に備え前向きな施策を

◆ 市内の状況

観光業・飲食業・宿泊業は5月中旬までは売上8~9割減の見込み。この状況の中、店舗独自で施策を工夫し始めている。製造業等は今後受注減で減産見込み。祭り・イベント・学校行事の中止や自粛の影響でさまざまな業種で売上が減っている。国の持続化給付金や雇用調整助成金、県の協力金を最大限に利用していただきたい。

◆ 市の対応状況

○ 外出自粛の徹底 ○ 人との距離を保つ ○ 感染拡大を予防する新しい生活様式による行動変容(マスクの着用、丁寧な手洗い、人との間隔2メートルなど)を市民に依頼。市立小中学校は5月31日まで臨時休校とするが、6月1日学校再開に向けた準備期間を計画中。保育園も5月31日まで臨時休園。ただし事情がある場合は各学校、施設で受入れ。

第3回委員会 5月22日：県の緊急事態措置解除 小中学校の早期再開に期待

◆ 市内の状況

観光業・飲食業・宿泊業は6月も売上7~9割減の見込み。製造業は世界経済衰退の影響が及ぶと予測。商工団体では、行政から大規模な緊急経済対策が打ち出され、財政、金融、税制等のあらゆる面で政策手段が総動員されており、特に市においては次々と緊急支援策が打ち出されていることに感謝している。

◆ 市の対応状況

緊急事態宣言が解除されても、この感染症への対応は再流行のリスクが存在することから長丁場になることが見込まれており、「独自の徹底した感染防止対策」を図りつつ、「経済を平常時に戻す取り組み」を方針とする。市立小中学校は5月18日から分散自主登校、6月1~4日分散登校、5日から通常登校、授業日数を確保するため夏休みは2週間程度、冬休みは10日間程度で調整中。

市民病院 中林玄一先生 医療戦略を解説

ウイルス感染症に詳しい飛驒市民病院小児科部長の中林玄一先生が新型コロナウイルスに立ち向かう市民病院の医療戦略について説明。この感染症は「特徴的な症状を持たないという特徴」を持っており、感染拡大を引き起こさない態勢が必要で、有効なワクチンができない限り収束は望めず、ひとりひとりの努力のみが安全安心を確保すると医療現場の疲労と緊張感を伝えた。発熱外来の設置については、現在のスタッフ体制では人員が確保できず、急性期病棟も1棟しかなく一般病棟への影響が大きく、周辺住民の不安感を引き起こす恐れもあり、県でも協議中であり圏域単位で考えていくべきものだろうと述べられた。

総務常任委員会

委員長 住田 清美

市では、これまで進めてきた「元気であんな誇りの持てるふるさと飛騨市づくり」をさらに進めるため、今年度は特に▼弱い立場の方の支援▼暮らしの質の充実を最重点目標とし施策を展開しますが、総務常任委員会に託された任務の重みをしっかり受け止め、市民の生活の向上につなげていきたいと考えております。

そこで、4月22日に所管事業調査を行い、各担当より主要事業の概要や課題などの聞き取りを行いました。

総務部……空き家対策や公共交通計画の策定、公共施設個別施設計画

市民福祉部……旧和光園整備、保育園園児数の推移、発達支援センターの構築、介護人材の確保など

企画部……総合政策指針に基づく施策展開、関係人口、移住・定住、指定管理。各振興事務の取組み

教育委員会……飛騨市学園構想、児童数の推移、文化財整備計画など

消防本部……地域防災強化の推進

病院管理室……市民病院の概要、建築物の老朽化対策

新型コロナウイルスについてもそれぞれの対応策を聞き取りました。

これらを取りまとめ、管内視察、管外視察、また、関係者との語る会を経て施策提言につなげる予定ですが、新型コロナウイルスの状況によって計画が見通せない現状であります。状況を見極め、実行できる範囲内で課題の洗い出しと提言につなげていきたいと考えております。

委員会開催記録

第1回	3月9日	役員選出
第2回	3月19日	付託案件審査
第3回	4月2日	年間計画について
第4回	4月22日	所管事業調査

産業常任委員会

委員長 井端 浩二

産業委員会では、市が進める「元気な飛騨市づくり」農林畜産、商工業、観光の発展についての施策や状況の確認と「あんな誇りの持てる飛騨市づくり」のための道路網、住宅、環境問題の施策や状況、今年度の計画を聞き取り、市民にとってより良い飛騨市になることを考え、管内視察を行い、今年度の課題や提言を模索していきたいと思っております。4月23日に所管事業調査を行い、各担当より下記のような説明を受けました。

基盤整備部……幹線道路ネットワーク整備、道路事業、無電柱化事業、住宅対策などの計画、各地区からの要望事項に対する対応状況

環境水道部……水道料金改定、下水道の耐震化・ストックマネジメント計画、ごみの減量化・リサイクルの取組み、不法投棄などについて

商工観光部……新型コロナウイルスによる経済状況と対策、観光協会とまつり会館の運営、主要事業等の現状・課題について

農林部……農業振興事業、玄の子土地改良事業、道の駅アルプ飛騨古川活性化計画、地籍調査事業について

新型コロナウイルスの状況や対策も聞き取りました。県事務所や関係団体との意見交換もしながら、委員会で話し合いまとめていきたいと考えます。

委員会開催記録

第1回	3月9日	役員選出
第2回	3月19日	付託案件審査
第3回	4月8日	年間計画について
第4回	4月23日	所管事業調査

議会改革特別委員会

委員長 野村 勝憲

3月定例会で「飛騨市議会議員定数等に関する調査研究」を目的に設置された委員会です。2月に行われた市議会議員選挙は定数割れとなり、議会としてこの結果を重く受けとめ、次の選挙からの議員定数と議員報酬、議員の兼業禁止、議員の倫理等、幅広い分野での議論を、人口規模等が飛騨市に近い自治体へ議会改革の取り組み等を調査しながら重ねていきます。

市民から議会への関心と信頼が高まるよう「李下に冠を正さず」の姿勢で、行政を監視・チェックする役目を果たせる議会となるよう改革を進めてまいります。

委員会開催記録

第1回	3月9日	役員選出
第2回	4月13日	年間計画について

広報広聴特別委員会

委員長 澤 史朗

議会活動が市民の目に見えるように議会だよりを魅力的に発信し、市民が気軽に参加できる意見交換会を積極的に開催しながら、市民と議会の距離を縮め次の世代が議会に関心が持てるよう工夫していきたいと考えます。

6月開催予定の「区長との意見交換会」は新型コロナの影響で中止とし、アンケート形式での意見交換としました。今後複数回の意見交換の場を持ち、市民の意見を行政に反映できるよう活発な委員会活動を目指します。

委員会開催記録

第1回	3月9日	役員選出
第2回	3月16日	議会だより構成検討
第3回	4月16日	年間計画・議会だより校正
第4回	5月13日	意見交換会・号外の検討